

がんばってます神戸の農業 NO. 5 道場町

多彩な農水産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。今回は、北区の道場町をご紹介します。

道場町

北区の北東部にあり、有馬川、武庫川を中心に豊かな田園地帯が広がっています。

農業では、酒米で有名な山田錦や味わい豊かな水稻をはじめ、トマト、ナス、学校給食でも使用されるジャガイモやタマネギ等の野菜も栽培されています。

○塩田の農地復元

塩田の美嚢谷では、一時期2m程のササやアシが一面に生えている農地がありました。

その農地を借りた農家の方は一人でササやアシを伐採し、一輪車で運び出して、約2か月間かけて農地を復元し、現在もキヌヒカリを栽培しています。

そのお米は、古米になっても味が落ちないのが自慢。

「収穫したキヌヒカリはねばりが出て、格別に旨いが、そのおいしさはイノシシにもわかるのか、毎年イノシシと取り合いになって、困っている。」と話された農家の方の顔は誇らしげな表情でした。

○生野集落・人・農地プラン

生野集落では、人・農地プランが平成25年12月に承認され、平成27年2月に更新されています。

生野のプランでは、田んぼの学校や市民農園などの消費者との交流イベントの他にヘアリーベッチなどの被覆植物の植栽に取り組まれています。

○神社

道場町には神社が多くありますが、平田集落では古くより、稲荷神社が鎮座しています。

また、生野集落の松や杉の鬱蒼たる森林の中では、春日神社が静かに佇んでいます。

地元の伝承行事

○獅子舞

日本での獅子舞の始まりは、16世紀の初めに、伊勢の国で飢饉、疫病を追い払うために獅子頭を作り、正月に獅子舞を舞わせたのが始まりといわれています。

道場町では、昭和52年に復活した塩田獅子舞保存会や平田集落の稲荷神社での獅子舞があります。



復元された塩田の農地



田んぼの学校（田植え体験）の様子



平田の稲荷神社



生野の春日神社



塩田の獅子舞の様子



平田の獅子舞の様子